

# 令和6年度 帯広第四中学校 全国体力・運動能力、運動習慣等調査について(結果と考察)

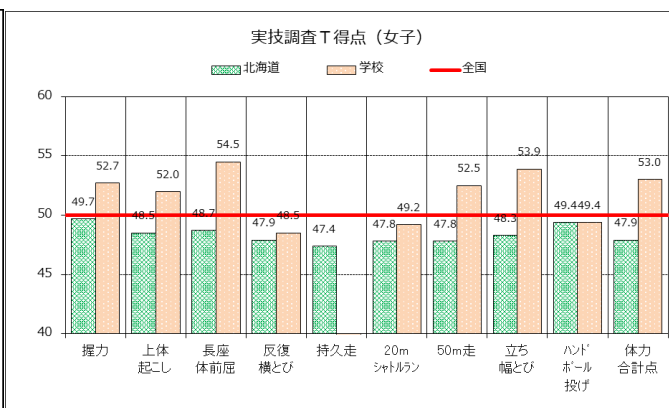
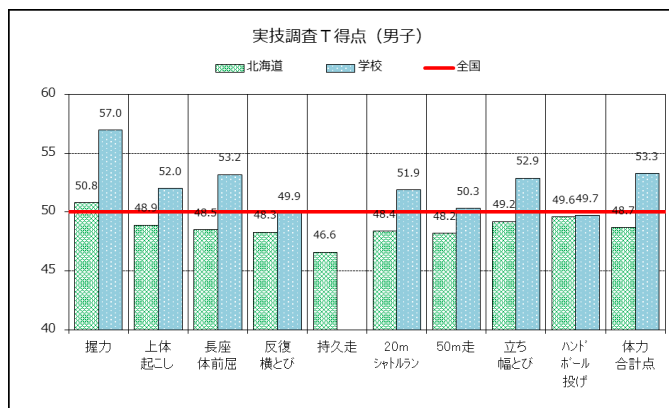
◎ **調査対象** 令和6年度 帯広市立帯広第四中学校 第2学年

◎ **実施時期** 令和6年4月～7月

◎ **体力・運動能力調査結果(実技集計より)** ※今年度の全国平均との比較

中学校 2年男子	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回)	20mシャトル ラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ハンドボール 投げ (m)	体力合計点 (点)
全国	28.95	25.94	44.47	51.51	78.98	7.99	197.18	20.57	41.86
北海道	29.57	25.42	42.77	49.95	74.78	8.16	194.73	20.31	40.49
令和5年四中	34.85	27.25	47.32	51.12	76.62	8.06	204.18	21.93	43.41
令和6年四中	34.11	27.22	48.04	51.41	83.72	7.96	206.40	20.39	45.45
分析	高い	高い	高い	やや低い	高い	やや高い	高い	やや低い	高い

中学校 2年女子	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回)	20mシャトル ラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ハンドボール 投げ (m)	体力合計点 (点)
全国	23.18	21.56	46.47	45.65	50.67	8.96	166.32	12.40	47.37
北海道	23.03	20.66	45.02	43.99	46.33	9.16	161.52	12.16	44.93
令和5年四中	23.64	21.64	44.52	44.82	49.03	9.33	167.78	12.88	45.15
令和6年四中	24.45	22.76	51.42	44.50	49.14	8.74	177.28	12.14	50.86
分析	高い	高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	やや低い	高い



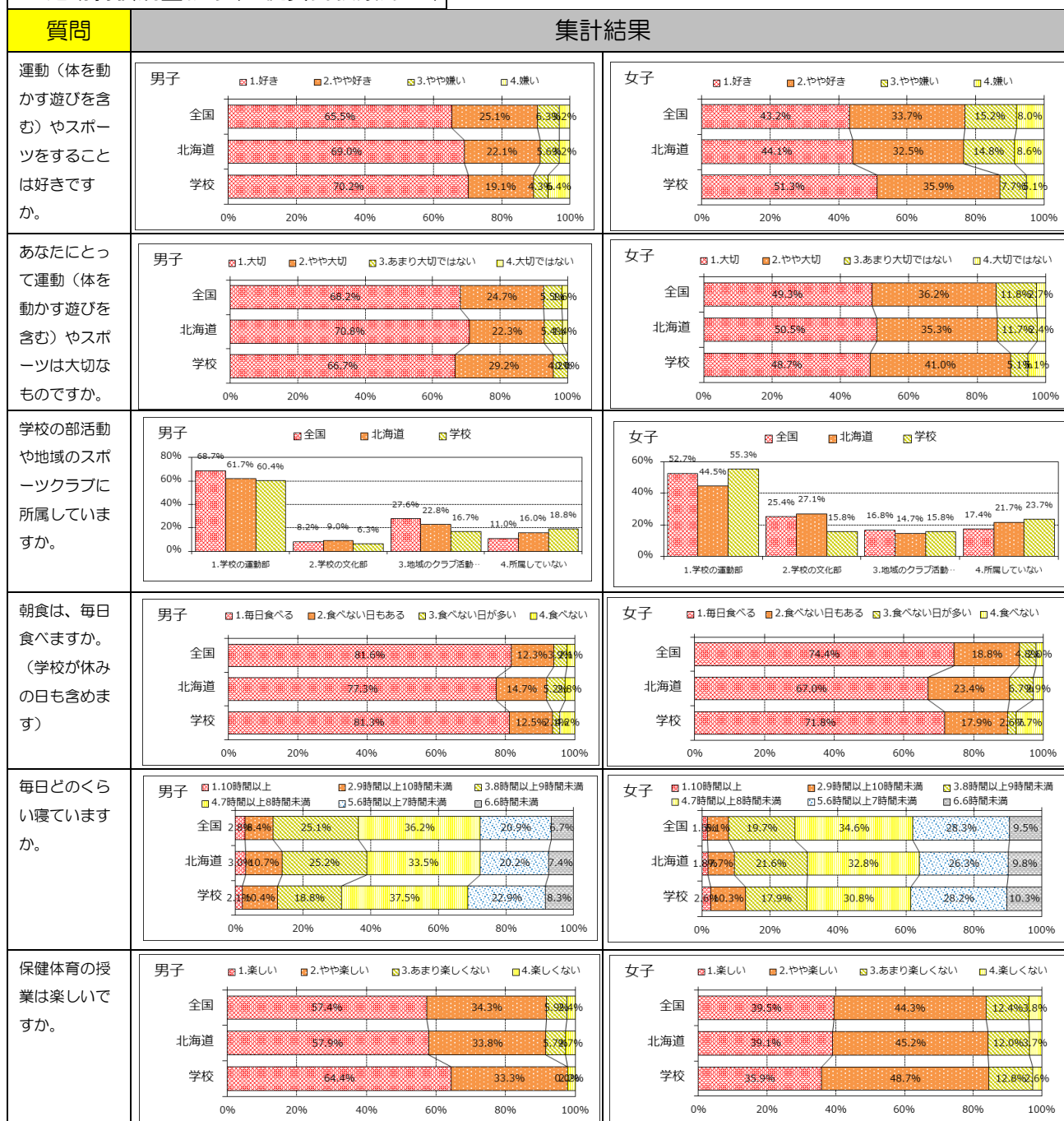
◎ **体力・運動能力調査結果から分かること**

- 男子は6種目で全国平均を上回り、2種目で全国平均を下回る結果となった。
- 女子は5種目で全国平均を上回り、3種目で全国平均を下回る結果となった。
- 体力合計点は、男女共に全国平均を上回る結果となった。

◎ **体力・運動能力調査結果からの考察**

- 男女ともに「握力」「上体起こし」「長座体前屈」「50m走」「立ち幅跳び」の数値が、全国平均を上回る結果となった。学年全体として、運動が好きな生徒が多く、保健体育の授業への積極性が高い傾向から、良い結果となったと考察する。
- 男女共に、「反復横跳び」「ハンドボール投げ」の数値が全国平均と比べてやや低い結果となった。体づくり運動や授業の導入の中で、敏捷性の運動や、体の動かし方について積極的に導入していく。
- 女子は、「20mシャトルラン」の数値が、全国平均に比べてやや低くなった。しかし、全国平均に徐々に近づいていることは良い傾向として考え、授業でのランニングや1時間当たりの運動時間を十分確保し、体力向上と運動の楽しさを味わえる授業を展開していきたい。

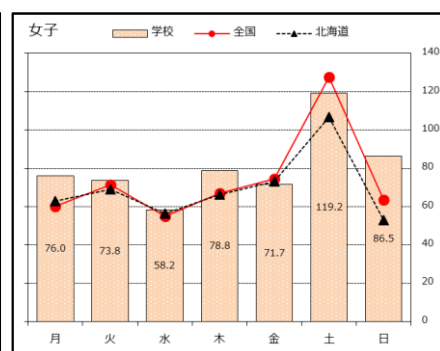
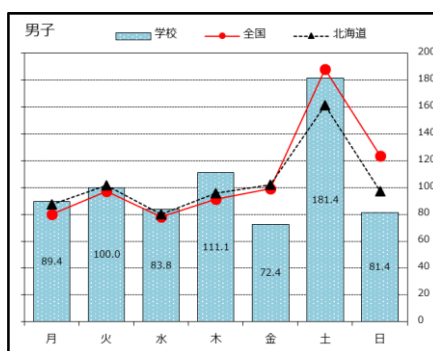
◎ 運動習慣調査結果(生徒質問紙集計より)



保健体育を除いた、部活動や地域スポーツ以外の運動時間(曜日ごと)

◎ 運動習慣調査結果からの考察

- 男女ともに運動が好き、保健体育の授業が楽しいと考える割合が高い。
- 運動部活動や地域クラブに所属している生徒は、男子 77.1%、女子 71.1%だが、全体的に授業や部活動等以外の運動習慣が全国平均よりもやや高い可能性がある。



- 男女ともに、部活動や地域のスポーツクラブに所属していない2~3割程の生徒への運動習慣の構築を考えていきたい。
- 睡眠時間の短さは、昨年同様男女共に気になる。規則正しい生活の必要性を共有していくとともに、家庭でも運動習慣をつくっていけるように協力・連携していきたい。